

Channel.310 #12



**「心身機能」を取り戻す
それが理学療法士。**

PT

特集： 職業理解から学習内容まで！まるごと理学療法士を理解するための一冊！



理学療法士 Physical Therapist

病気や事故、加齢などによる障害により日常生活に支障をきたした方々に対し、立ち上がり、歩行などの基本動作の回復をはかり、心身機能を元に戻す専門職です。



言語聴覚士 Speech-language-hearing Therapist

言葉によるコミュニケーションに問題がある方々に専門的なアプローチを行い、より本来の自分らしい生活ができるように支援する専門職です。また、食べる事・飲み込む事の問題にも専門的に対応します。



看護師 Nurse

医師の指導のもとで、診療の補助をしたり、療養生活を送る人々の日常生活のサポートを行う専門職です。一刻を争う緊急状況で適切な行動がとれる判断力と実践力が求められます。

介護福祉士 Care Worker

身体上あるいは精神上の障害があるために日常生活を営むのが困難な人に対して、入浴、排泄、食事などを含む介護や介護に関する指導を行います。





理学療法学科は、スポーツによるケガ、病気、老化などが原因で、日常生活に支障がある方々に対して、どのように基本動作の回復を図り心身機能を向上させていくかを学ぶ学科です。様々な検査をして身体機能の評価・分析を行い、主に運動を用いて赤ちゃんからお年寄りまで、人生のあらゆる場面で患者様をサポートする理学療法士。本学科では、その人にそれぞれに合わせたリハビリテーションを考え、治療を行うための勉強をします。



リハビリテーションとは？

Rehabilitation → Re (再び・戻す)
+
habilis (適した・ふさわしい)

単なる機能回復が目的ではなく、「自分らしく生きること」が重要で、そのために行われるすべての活動がリハビリテーションとなります。

理学療法士の仕事の流れ



① 評価・分析

理学療法士はまず、患者様の身体機能を知るために、さまざまな検査を行います。評価と分析をして、問診の中で、これまでの病歴やその人の生活様式、今後の目標などを聞いたうえでプログラムを作成していきます。



② プログラム作成

評価と分析から、どんなリハビリテーションをしていけば良いかを考え、患者様一人ひとりに最適なプログラムを作成します。



③ リハビリテーション

作成したプログラムをもとに、「起き上がる」「立つ」「歩く」など、その人の日常生活に欠かせない基本動作能力に対するリハビリテーションを行います。



理学療法士のキーワードは

Physical
身体

Motion
動作

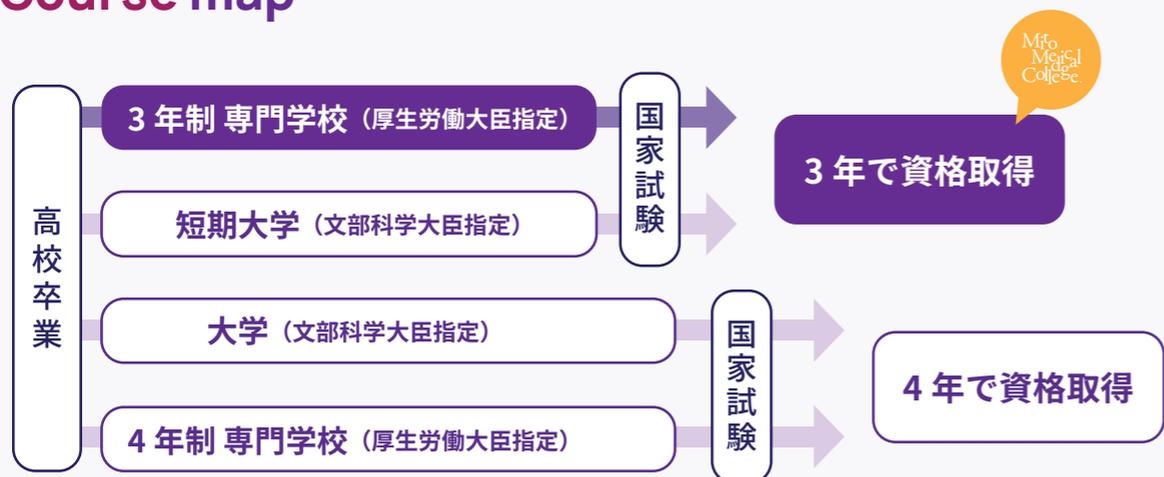
Living
生活



最短3年で取得できる
医療の国家資格「理学療法士」

それぞれのルートの特徴を理解して、自分に合った進路を選択しましょう！

Course map



医療専門学校 水戸メディカルカレッジは 3年制 / 定員 40名 の専門学校です。

理学療法士の進路

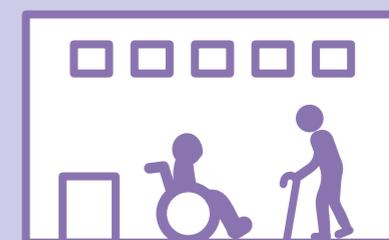
現在、理学療法士を目指すための学校は、全国に250校以上あります。ここで重要なことは「進学するだけでは理学療法士の資格は取得できない」ということです。資格を取得するためには、国家試験に合格する必要があります。学校を卒業するだけでなく、国家試験に合格してはじめて理学療法士になれるのです。

医療機関 Medical institution



最も多くの理学療法士が活躍する場が、病院やクリニックなどの医療機関となります。整形外科、心臓外科や脳神経外科などさまざまです。ケガや脳卒中などで身体機能が低下した方へのリハビリ、入院中の体力低下の予防、体力維持のための訓練など、いろいろな分野があります。

福祉施設 welfare facility



介護老人保健施設、デイケアサービスセンター、通所リハビリテーション、特別養護老人ホームなど、超高齢社会の日本において、高齢者の方へのリハビリ需要は高くなっています。また、児童福祉・障害者福祉施設においても理学療法士のニーズがあります。

訪問リハビリテーション

Visit rehabilitation



医療の現場は、医療機関から在宅へと徐々に変化し、訪問リハビリテーションが注目されています。訪問リハビリテーションは、ご利用者様の自宅や施設を訪問し、ご利用者様ができる限り自立した日常生活を送ることを目標に、心身機能の維持・回復に向けたリハビリを行います。

スポーツ分野 Sports field



スポーツでケガをした人の基本動作を回復させるために理学療法を行います。ケガや故障からの復帰へ向けた治療をしたり、ケガを予防するための身体づくりや疲労回復などの支援も行います。プロのスポーツチームでトレーナーとして活躍している理学療法士もいます。



基礎分野

→ 「心理学」「情報処理技術論」 など

専門基礎分野

→ 「解剖学」「生理学」「リハビリテーション概論」 など

専門分野

→ 「運動学」「理学療法評価技術論」「理学療法臨床推論」 など

Anatomy



Physiology



Kinematics

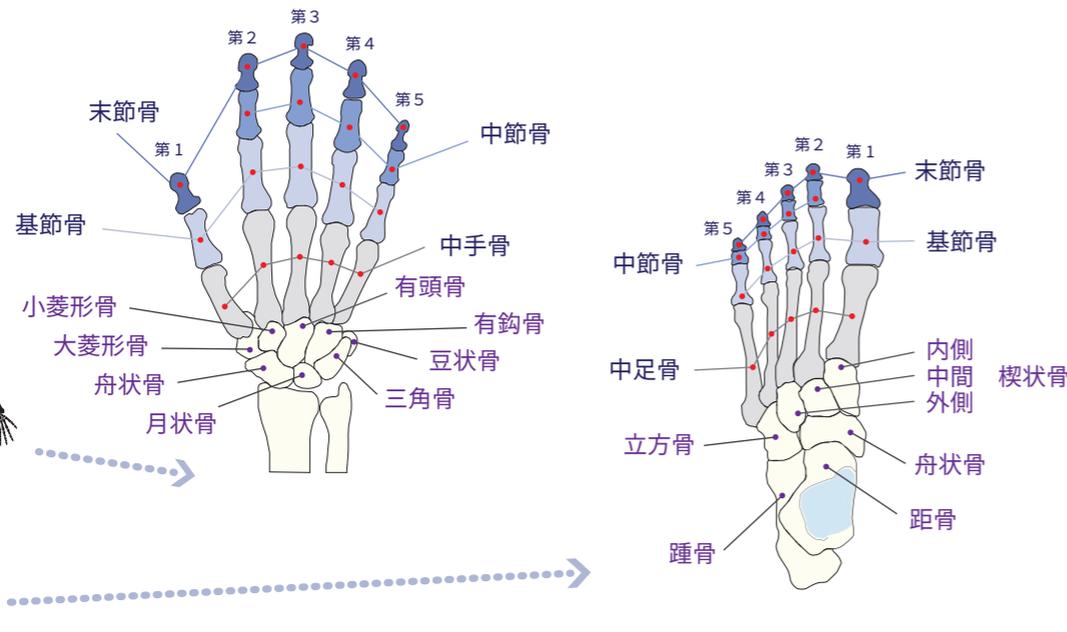


人体の形態や構造を学ぶ

体の諸器官の働きを学ぶ

運動に関する基礎を学ぶ

【★解剖学】 まずは、骨・関節の形態と構造を覚え、人間の動きの中でどのような役割をしているかを学んでいきましょう。



成人の体には、約206本の骨があります。理学療法士を目指す学生にとって骨の名称を覚えることは学びの基本となります。1年次は、人体の構造【解剖学】→体の諸器官の働き【生理学】→運動に関する基礎【運動学】などを学び、リハビリテーションの学びへと繋げていきます。心身機能の回復をはかる治療を行う理学療法士にとって、骨や関節、筋肉の勉強は基本であり、とても重要です。



臨床実習

1年次

- ・見学実習Ⅰ
- ・見学実習Ⅱ

2年次

- ・地域理学療法実習
- ・評価実習

3年次

- ・総合臨床実習Ⅰ
- ・総合臨床実習Ⅱ

医療専門学校 水戸メディカルカレッジの場合

1年次

見学実習Ⅰ

45時間 (約1週間)

見学実習Ⅱ

45時間 (約1週間)

病院や福祉施設などで見学を通して、実際に理学療法士の指導のもと患者様との接し方や医療従事者としての態度を学びます。

2年次

地域理学療法実習

45時間 (約1週間)

評価実習

135時間 (約4週間)

地域在住者を対象とした理学療法士の役割、地域リハビリテーションの仕事を見学を通して学びます。

患者様の状態を適切に評価する方法を学び医療チームの一員としての連携方法を習得します。

3年次

総合臨床実習Ⅰ

315時間 (約7週間)

総合臨床実習Ⅱ

315時間 (約7週間)

今まで学んできたことの集大成として、理学療法士の指導のもとで評価から治療計画立案までを行い、患者様に触れ、理学療法を経験します。

1年次から3年次までさまざまな臨床実習を通して、理学療法士の役割や心構えを正しく理解し、学内学習で習得した理学療法士として必要な知識や技術を臨床現場で体験します。学内での学びを臨床で体験し、より深い学びにつなげます。



国家資格「理学療法士」

養成校で理学療法士になるための知識や技術を学び、必要な単位数を取得することで、はじめて国家試験の受験資格を得られます。そして年に1度、2月に行われる国家試験に合格することで「理学療法士」を取得できるのです。

国家試験（筆記試験）

理学療法士の国家試験は【一般問題】と【実地問題】の2種類、全200問（280点）で行われるマークシートの選択問題となっており、総得点が168点以上（内【実地問題】を43点以上）であれば合格となります。

一般問題

8科目160問出題され、1問1点として計算

解剖学
生理学
運動学
病理学概論
臨床心理学
リハビリテーション医学(リハビリテーション概論を含む)
臨床医学大要(人間発達学を含む)
理学療法

実地問題

5科目40問出題され、1問3点として計算

運動学
臨床心理学
リハビリテーション医学
臨床医学大要(人間発達学を含む)
理学療法



骨



筋肉



歩行



痛み



トレーニング



義肢

こんな勉強に興味がある人は、理学療法士に向いてるかも♪

Mito Medical College

医療専門学校 水戸メディカルカレッジ



There is a reassuring environment for everyone who learns!

学ぶみんなに心強い環境がココにはある!

Mito
Medical
College

HOKUSUIKAI GROUP

